

第1問

〔解答〕

(1)	ア	イ			
	8	2			
(2)	ウ	エ			
	3	9			
(3)	オ	カ			
	6	4			
(4)	キ	ク	ケ	コ	サ
	2	7	0	0	0

〔解説〕

(1)

与式の両辺を3乗すると、

$$\begin{aligned}
 301\sqrt{a}-319\sqrt{b} &= a\sqrt{a}-3a\sqrt{b}+3b\sqrt{a}-b\sqrt{b} \\
 \Leftrightarrow (301-a-3b)\sqrt{a} &= (319-3a-b)\sqrt{b} \\
 \Leftrightarrow (301-a-3b)\sqrt{ab} &= (319-3a-b)b \quad \dots \textcircled{1}
 \end{aligned}$$

となる。ここで、条件より、 a, b は正の整数であるので、 \sqrt{ab} が整数でないとき、 \sqrt{ab} は無理数である。したがって、①の右辺は整数であるから、

$$301-a-3b=0 \quad \dots \textcircled{2}$$

となる。また、このとき、 $b \neq 0$ より、

$$319-3a-b=0 \quad \dots \textcircled{3}$$

となる。よって、②と③を連立して、

$$a=82, b=73$$

を得る。

(2)

$$\vec{a}=(\cos \alpha, \sin \alpha), \vec{b}=(6\sqrt{\cos \beta}, \sqrt{15\sin \beta})$$

とする。また、 \vec{a}, \vec{b} のなす角を θ とすると

$$\begin{aligned}
 (6\cos \alpha \cdot \sqrt{\cos \beta} + \sin \alpha \cdot \sqrt{15\sin \beta})^2 &= (\vec{a} \cdot \vec{b})^2 \\
 &= (|\vec{a}||\vec{b}|\cos \theta)^2 \\
 &= |\vec{a}|^2 |\vec{b}|^2 \cos^2 \theta
 \end{aligned}$$

となる。ここで

$$\begin{aligned}
 |\vec{a}|^2 &= \cos^2 \alpha + \sin^2 \alpha = 1 \\
 |\vec{b}|^2 &= 36\cos \beta + 15\sin \beta \\
 &= 39\left(\frac{12}{13}\cos \beta + \frac{5}{13}\sin \beta\right) \\
 &= 39\sin(\beta + \phi) \\
 &\leq 39 \quad \dots \textcircled{1} \\
 \cos^2 \theta &\leq 1 \quad \dots \textcircled{2}
 \end{aligned}$$

となる。ただし、 ϕ は $\cos \phi = \frac{5}{13}, \sin \phi = \frac{12}{13}$ を満たす値であり、①の等号は、

$\cos \beta = \frac{5}{13}, \sin \beta = \frac{12}{13}$ のとき、すなわち $\vec{b} = \left(12\sqrt{\frac{3}{13}}, 5\sqrt{\frac{3}{13}}\right)$ のときに成立する。また、このとき

$\vec{a} = \pm \frac{1}{\sqrt{39}}\vec{b} = \left(\pm \frac{12}{13}, \pm \frac{5}{13}\right)$ (複合同順)とすれば、 \vec{a}, \vec{b} が互いに平行、つまり $\cos^2 \theta = 1$ となり、②

の等号が成立する。以上より、求める最大値は、

$$1 \cdot 39 \cdot 1 = 39$$

となる。

(3)

$f(x) = \sqrt[3]{x+1} - \sqrt[3]{x}$ とする。このとき、

$$f(m) = \int_m^{m+1} \frac{1}{3} x^{-\frac{2}{3}} dx$$

であり、 $\frac{1}{3}x^{-\frac{2}{3}}$ は単調減少であるから、 $f(x)$ も単調減少である。さらに、

$$\begin{aligned}
 f(m) &> \int_m^{m+1} \frac{1}{3}(m+1)^{-\frac{2}{3}} dx = \frac{1}{3}(m+1)^{-\frac{2}{3}} \\
 f(m) &< \int_m^{m+1} \frac{1}{3}m^{-\frac{2}{3}} dx = \frac{1}{3}m^{-\frac{2}{3}}
 \end{aligned}$$

であるから、

$$\begin{aligned}
 f(63) &> \frac{1}{3} \cdot 64^{-\frac{2}{3}} = \frac{1}{48} \\
 f(64) &< \frac{1}{3} \cdot 64^{-\frac{2}{3}} = \frac{1}{48}
 \end{aligned}$$

であり、求める値は、

$$m=64$$

である。

(4)

$g(x) = (\sqrt[3]{x+1})^4 - (\sqrt[3]{x})^4$ とすると、

$$g(n) = \int_n^{n+1} \frac{4}{3} x^{\frac{1}{3}} dx$$

であり、 $\frac{4}{3}x^{\frac{1}{3}}$ は単調増加であるから、 $g(x)$ も単調増加である。さらに、

$$\begin{aligned}
 g(n) &< \int_n^{n+1} \frac{4}{3}(n+1)^{\frac{1}{3}} dx = \frac{4}{3}(n+1)^{\frac{1}{3}} \\
 g(n) &> \int_n^{n+1} \frac{4}{3}n^{\frac{1}{3}} dx = \frac{4}{3}n^{\frac{1}{3}}
 \end{aligned}$$

であるから、

$$\begin{aligned}
 g(26999) &< \frac{4}{3} \cdot 27000^{\frac{1}{3}} = 40 \\
 g(27000) &> \frac{4}{3} \cdot 27000^{\frac{1}{3}} = 40
 \end{aligned}$$

であり、求める値は、

$$n=27000$$

である。

第2問

【解答】

(1)	ア	イ	ウ
	4	1	3
(2)	エ	オ	カ
	2	0	5
(3)	キ	ク	ケ
	2	5	4

【解説】

(1)

与式の両辺を x で微分すると、

$$4x^3 + 2y \frac{dy}{dx} = 0$$

$$\therefore \frac{dy}{dx} = -\frac{2x^3}{y} \quad (\because y > 0)$$

となる。よって $(x, y) = (2, 3)$ のとき、

$$\frac{dy}{dx} = -\frac{16}{3}$$

である。ゆえに、この点における曲線の接線は、

$$y = -\frac{16}{3}(x-2) + 3$$

$$= -\frac{16}{3}x + \frac{41}{3}$$

となる。よって、

$$b = \frac{41}{3}$$

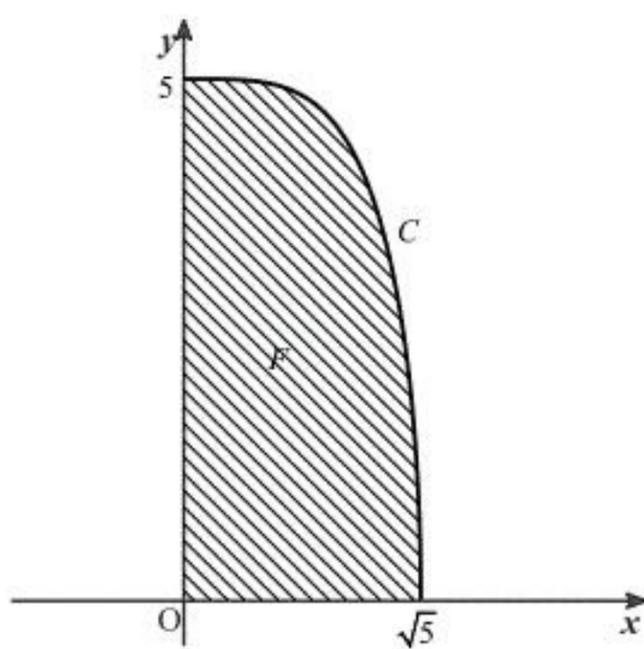
である。

(2)

C について $x > 0, y > 0$ より、

$$\frac{dy}{dx} = -\frac{2x^3}{y} < 0$$

であるから、 y は x について単調減少である。したがって、 C, F の概形は以下のようになる。



上図より、図形 F を x 軸のまわりに1回転してできる立体の体積を V とすると、

$$V = \int_0^{\sqrt{5}} \pi y^2 dx$$

$$= \pi \int_0^{\sqrt{5}} (25 - x^4) dx$$

$$= \pi \left[25x - \frac{1}{5}x^5 \right]_0^{\sqrt{5}}$$

$$= 20\sqrt{5}\pi$$

となる。

(3)

(2)の図より、図形 F を y 軸のまわりに1回転してできる立体の体積を W とすると、

$$W = \int_0^5 \pi x^2 dy$$

$$= \pi \int_0^5 \sqrt{25 - y^2} dy$$

である。ここで、 $\int_0^5 \sqrt{25 - y^2} dy$ は半径5の四分円の面積を表すから、

$$W = \pi \cdot \left(\frac{1}{4} \cdot \pi \cdot 5^2 \right)$$

$$= \frac{25}{4} \pi^2$$

である。

第3問

〔解答〕

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス
1	0	3	8	3	1	3	-	1	9	4	8	6

〔解説〕

$f(x)$ の原始関数を $G(x)$ とすると、

$$\begin{aligned} F(x) &= [G(t)]_0^x \\ &= G(x) - G(0) \\ S(x) &= [G(t+x)]_0^x \\ &= G(2x) - G(x) \end{aligned}$$

となる。ここで、 $G'(x) = f(x)$ であり、 $G(0)$ は定数であるから、

$$\begin{aligned} F'(x) &= G'(x) \\ &= f(x) \\ S'(x) &= 2G'(2x) - G'(x) \\ &= 2f(2x) - f(x) \end{aligned}$$

となる。したがって、

$$\begin{aligned} F'\left(\frac{\pi}{2}\right) &= f\left(\frac{\pi}{2}\right) = \frac{10}{3} \\ S'\left(\frac{\pi}{2}\right) &= 2f(\pi) - f\left(\frac{\pi}{2}\right) = \frac{8}{3} \end{aligned}$$

となる。ここで $y = S(x)$ とすると、 $x = g(y)$ であり、

$$\begin{aligned} \frac{dy}{dx} &= S'(x) \\ &= 2f(2x) - f(x) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} g'(y) &= \frac{dx}{dy} \\ &= \frac{1}{\frac{dy}{dx}} \\ &= \frac{1}{2f(2x) - f(x)} \end{aligned}$$

であるから、

$$\begin{aligned} g'(0) &= \frac{1}{f(0)} \\ &= \frac{1}{3} \end{aligned}$$

となる。また、

$$\begin{aligned} g^*(y) &= \frac{d^2x}{dy^2} \\ &= \frac{dx}{dy} \cdot \frac{d}{dx} \left(\frac{dx}{dy} \right) \\ &= g'(y) \cdot \frac{d}{dx} \left\{ \frac{1}{2f(2x) - f(x)} \right\} \\ &= g'(y) \cdot \frac{-4f'(2x) + f'(x)}{\{2f(2x) - f(x)\}^2} \end{aligned}$$

であるから、

$$\begin{aligned} \lim_{x \rightarrow 0} \frac{g'(x) - g'(0)}{x} &= g^*(0) \\ &= g'(0) \cdot \frac{-3f'(0)}{f(0)^2} \\ &= -\frac{f'(0)}{f(0)^2} \end{aligned}$$

となる。ここで、

$$\begin{aligned} f'(x) &= \frac{19}{18} \cos x \cdot \left(9 + \frac{19}{9} \sin x \right)^{\frac{1}{2}} \\ \therefore f'(0) &= \frac{19}{54} \end{aligned}$$

であるから、

$$\begin{aligned} \lim_{x \rightarrow 0} \frac{g'(x) - g'(0)}{x} &= -\frac{f'(0)}{f(0)^2} \\ &= -\frac{19}{486} \end{aligned}$$

である。

第4問

【解答】

(1)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
	1	5	6	4	3	8
(2)	キ	ク	ケ	コ	サ	シ
	2	1	3	2	1	2
(3)	ス	セ	ソ	タ	チ	
	3	6	4	1	4	

【解説】

(1)

$$\begin{aligned}
 P(A \cap B) &= P(B) \cdot P_B(A) \\
 &= \frac{3}{8} \cdot \frac{5}{8} \\
 &= \frac{15}{64}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 P_A(B) &= \frac{P(A \cap B)}{P(A)} \\
 &= \frac{\frac{15}{64}}{\frac{5}{8}} \\
 &= \frac{3}{8}
 \end{aligned}$$

となる。

(2)

$$\begin{aligned}
 P(B \cup C) &= P(B) + P(C) - P(B \cap C) \\
 &= P(B) + P(C) - P(B) \cdot P_B(C) \\
 &= \frac{3}{8} + \frac{5}{16} - \frac{3}{8} \cdot \frac{1}{12} \\
 &= \frac{21}{32}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 P_{\bar{C}}(B) &= \frac{P(B \cap \bar{C})}{P(\bar{C})} \\
 &= \frac{P(B \cup C) - P(C)}{1 - P(C)} \\
 &= \frac{\frac{21}{32} - \frac{5}{16}}{1 - \frac{5}{16}} \\
 &= \frac{1}{2}
 \end{aligned}$$

となる。

(3)

$$P(A \cup B \cup C) = P(A) + P(B) + P(C) - P(A \cap B) - P(A \cap C) - P(B \cap C) + P(A \cap B \cap C)$$

である。また、与条件より

$$P(A \cup B \cup C) = 1$$

$$P(A \cap B \cap C) = 0$$

であり、(2)の過程より

$$P(B \cap C) = P(B) \cdot P_B(C) = \frac{1}{32}$$

であるから、

$$\begin{aligned}
 P(A \cap C) &= P(A) + P(B) + P(C) - P(A \cap B) - P(B \cap C) - P(A \cup B \cup C) \\
 &= \frac{5}{8} + \frac{3}{8} + \frac{5}{16} - \frac{15}{64} - \frac{1}{32} - 1 \\
 &= \frac{3}{64}
 \end{aligned}$$

となる。また、

$$\begin{aligned}
 P_C(A \cup B) &= \frac{P((A \cup B) \cap C)}{P(C)} \\
 &= \frac{P((A \cap C) \cup (B \cap C))}{P(C)} \\
 &= \frac{P(A \cap C) + P(B \cap C) - P((A \cap C) \cap (B \cap C))}{P(C)} \\
 &= \frac{P(A \cap C) + P(B \cap C) - P(A \cap B \cap C)}{P(C)} \\
 &= \frac{\frac{3}{64} + \frac{1}{32} - 0}{\frac{5}{16}} \\
 &= \frac{1}{4}
 \end{aligned}$$

となる。